

2019年度
登別市デンマーク友好都市
中学生派遣交流事業
研修報告書



目次

○登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業の概要・・・・・・・・・・	1
・事業概要	
・研修日程表	
・派遣生徒・引率者・ホストファミリー名簿	
・派遣日程表	
・各学校独自の取組について	
○研修テーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
日本とデンマークの生活の違い	
登別市立鷺別中学校	1年 木下 耕太郎
デンマークの伝統的な文化について	
登別市立鷺別中学校	3年 清瀬 栞奈
デンマークの食べ物について	
登別市立鷺別中学校	3年 宮本 彩希
デンマークの首都「コペンハーゲン」	
登別市立西陵中学校	1年 船田 清夏
デンマークの教育について	
登別市立西陵中学校	2年 滝沢 恵生
日本とデンマークの交流の歴史	
登別市立緑陽中学校	1年 樋口 暖日
デンマークのテレビ	
北海道登別明日中等教育学校	1回生 佐藤 杏花音
食文化から探る幸福度ナンバーワンの秘密	
北海道登別明日中等教育学校	1回生 寺沢 美柚
デンマークの建物について	
北海道登別明日中等教育学校	3回生 柳瀬 望琉

○感想文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

- 木下 耕太郎 : 英語の意味とは
- 清瀬 葉奈 : デンマークで学んだこと
- 宮本 彩希 : デンマークの感想
- 船田 清夏 : ホームステイ先での経験
- 滝沢 恵生 : 初めての海外、そしてデンマーク
- 樋口 暖日 : デンマークに行って楽しかったこと、いろいろ
- 佐藤 杏花音 : デンマークで過ごした最高の夏休み
- 寺沢 美柚 : デンマークで知った食文化
- 柳瀬 望琉 : 親切な心に触れて

○引率者報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

- 団 長 : 土門 和宏 登別市総務部総務グループ総括主幹
- 引率者 : 吉井 真裕 登別市立西陵中学校教諭

○帰国報告会資料[派遣生徒]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

○帰国報告会資料[引率者]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 149

事業概要

○ 事業概要

1 目的

登別市の中学生を友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流や日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育むとともに、ファボー・ミッドフュン市との交流を推進することを目的とする。

2 訪問国及び都市

デンマーク王国：コペンハーゲン市、オーデンセ市、
ファボー・ミッドフュン市

3 派遣期間

2019年8月9日（金）～ 17日（土）：8泊9日

4 交流内容

表敬訪問：ファボー・ミッドフュン市役所

学校訪問：リングフリー校、ノーアエア校

施設見学：アンデルセン博物館、レゴランド、イーエスコー城、
森の幼稚園、老人ホーム、オリンピック関連スポーツ施設

5 研修内容

(1)結 団 式：2019年7月2日（火）

(2)事前研修：2019年7月5日（金）～8月6日（火）計10回
デンマークの概要の学習、研修テーマの決定、英会話、
デンマーク語、登別の紹介・歌・踊りの練習など

〔OB懇談会（第7回事前研修）講師〕

派遣OB：大澤 玲裕〔H30年度：団長〕

斎藤 智弥〔H30年度：引率英語教諭〕

村元 優希〔H30年度：登別市立幌別中学校〕

石山 明寿香〔H30年度：登別市立登別中学校〕

和田 笙〔H30年度：登別市立緑陽中学校〕

〔保護者懇談会（第7回事前研修）出席者〕

派遣OB保護者：村元さん、石山さん、和田さん

今年度保護者：船田さん、樋口さん、佐藤さん

(3)事後研修：2019年8月30日（金）～ 10月3日（木）計6回
研修成果まとめ、感想文提出、帰国報告会準備

(4)帰国報告会：2019年10月4日（金）

○ 研修日程表

月 日	内 容		会 場	時 間
07月02日(火)	結団式・第1回保護者説明会		市民会館/小会議室	18:00~19:30
07月05日(金)	事前研修①	デンマークの概要説明、昨年の様子紹介、リーダーの決定、アトラクション担当パート決定、研修テーマ検討、特技披露検討	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月08日(月)	事前研修②	研修テーマ決定、英語・デンマーク語レッスン、アトラクション練習	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月12日(金)	事前研修③	手紙の書き方 英語・デンマーク語レッスン、アトラクション練習	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月19日(金)	事前研修④	英語・デンマーク語レッスン、アトラクション練習	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月23日(火)	事前研修⑤	英語・デンマーク語レッスン、アトラクション練習	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月26日(金)	事前研修⑥	英語・アトラクション練習	市民会館/視聴覚室	09:30~12:00
07月27日(土)	事前研修⑦	O B 懇談会	市民会館/視聴覚室	09:30~12:00
07月29日(月)	第2回保護者説明会(保護者)		市役所/第二委員会室	18:00~19:00
07月30日(火)	事前研修⑧	英語・アトラクション練習	市民会館/視聴覚室	09:30~12:00
08月02日(金)	事前研修⑨	英語・アトラクション練習	市民会館/視聴覚室	09:30~12:00
08月06日(火)	事前研修⑩	総練習、最終打合せ	市民会館/視聴覚室	09:30~12:00
08月07日(水)	市長へ出発挨拶(派遣者)		市役所/市長応接室	10:00~10:30
08月09日(金)	デンマークへ出発		市役所/裏駐車場	13:40~
08月17日(土)	デンマークから帰国		市役所/裏駐車場	16:10頃
08月22日(木)	市長へ帰国挨拶(派遣者)		市役所/市長応接室	16:30~17:00
08月30日(金)	事後研修①	報告書作成	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
09月06日(金)	事後研修②	報告書作成	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
09月13日(金)	事後研修③	報告書作成	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
09月20日(金)	事後研修④	帰国報告会準備	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
09月27日(金)	事後研修⑤	帰国報告会準備	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
10月03日(木)	事後研修⑥	帰国報告会リハーサル	市民会館/大会議室	16:30~18:00
10月04日(金)	帰国報告会		市民会館/大会議室	18:00~19:30

○ 派遣生徒・引率者名簿

学 校 名	学 年	生 徒 名
登別市立鷺別中学校	1年生	木下 耕太郎
登別市立鷺別中学校	3年生	清瀬 栞奈
登別市立鷺別中学校	3年生	宮本 彩希
登別市立西陵中学校	1年生	船田 清夏
登別市立西陵中学校	2年生	滝沢 恵生
登別市立緑陽中学校	1年生	樋口 暖日
北海道登別明日中等教育学校	1回生	佐藤 杏花音
北海道登別明日中等教育学校	1回生	寺沢 美柚
北海道登別明日中等教育学校	3回生	柳瀬 望琉

引率者	団 長	登別市総務部 総務グループ 総括主幹	土門 和宏
	引率教諭	登別市立西陵中学校	吉井 真裕
	市民 サポーター	—	福岡 ひろみ

○ ホストファミリー名簿

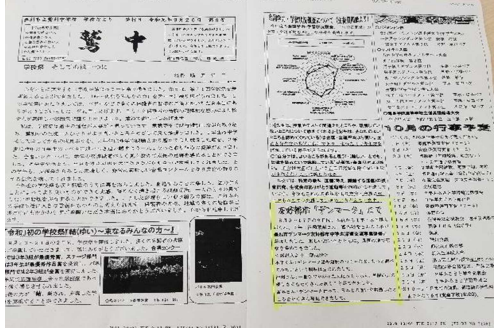
派遣者名	ホスト名	性別	家族構成
木下 耕太郎	Albert Møller Mark Pedersen アルバート・ムラー・マルク・ペダセン	男	父 母 兄 ステファン メレーテ ラスムス
	Gustav Bentzenberg Poulsen グスタフ・ベンツェンバーグ・ポウルセン	男	父 母 弟 妹 トーベン レギツェ ヴィラス カレン・マリー
清瀬 葉奈	Sofie Botoft Kildegaard ソフィ・ボトフ・キレゴ	女	父 母 弟 ヘンリック マイブリット フレデリク
	Mille Brandt Frederiksen ミレ・ブランド・フレデリクセン	女	父 母 兄 レーネ レナ マス
宮本 彩希	Annabel Reinhold Rasmussen アナベル・ラインホルト・ラスムッセン	女	父 母 ラーズ テレーゼ
寺沢 美柚	Liva Bendt Floodness リーバ・ベント・フラドネス	女	父 母 弟 妹 弟 ステファン リーネ アクセル エスター ヴィゴ
	Emma-Victoria Pustelnik Nielsen エマ・ヴィクトリア・プステルニク・ニルセン	女	父 母 姉 兄 妹 ソレン エリン アネ・カトリーヌ アレクサンダー ヨセフィーヌ
滝沢 恵生	Viktor Vest Fuglsang ヴィクター・ヴェスト・フルサン	女	父 母 妹 弟 キム ライラ フライヤ フレデリク
樋口 暖日	Gustav Valentin Axelsen グスタフ・ヴァレンティン・アクセルセン	男	父 母 兄 オレ シャーロッテ アルベルト
佐藤 杏花音	Andrea Skregeskov アンドレア・スクレイエスコウ	女	父 母 弟 ヘンリック カリナ セバスティアン
船田 清夏 柳瀬 望琉	Astrid Nørby Knudsen アストリド・ノルビ・クヌーセン	女	父 母 妹 弟 ブライアン ハンネ イダ アンドレアス
団長 土門 和宏 引率教諭 吉井 真裕 市民サポーター 福岡 ひろみ	Emma-Victoria Pustelnik Nielsen エマ・ヴィクトリア・プステルニク・ニルセン	女	父 母 姉 兄 妹 ソレン エリン アネ・カトリーヌ アレクサンダー ヨセフィーヌ

○ 派遣日程表

月日	行程	内容	食事	宿泊	
8/9 (金)	市役所 ⇒新千歳空港 05:30 06:40	《1日目》 05:15 市役所裏玄関に集合 05:30 市バスで新千歳空港へ 06:40 新千歳空港到着後、搭乗手続き			
	新千歳空港 ⇒成田空港 07:45 09:20	07:45 全日空(NH2152 便)で成田空港へ 09:20 成田空港到着後、出国手続き			
	成田空港 ⇒コペンハーゲン 11:10 空港 15:30 (デンマーク時間)	11:10 スカンジナビア航空(SK984 便)でコペンハーゲン空港へ (約 11 時間 20 分) 15:30 コペンハーゲン空港到着後、入国手続き(荷物受取り、税関審査) 空港から駅へ徒歩移動	機内食	ホテル	
	コペンハーゲン⇒コペンハーゲン 空港駅 中央駅 17:35 17:48	17:35 普通列車でコペンハーゲン中央駅へ 17:48 コペンハーゲン中央駅到着	派遣 交流団		
	コペンハーゲン⇒ホテル 中央駅 18:00 17:50	17:50 駅からホテルへ徒歩移動 18:00 ホテルにチェックイン(ベストウェスタンホテル ヘブロン)	(夜)		
8/10 (土)	ホテル ⇒コペンハーゲン 09:00 中央駅 09:11	《2日目》 09:00 ホテルチェックアウト コペンハーゲン中央駅へ徒歩移動	ホテル (朝)		
	コペンハーゲン⇒オーデンセ駅 中央駅 09:52 11:08	09:52 コペンハーゲン中央駅で列車 (ICL343) に乗車、オーデンセへ	派遣 交流団	ホスト	
	オーデンセ市内	11:08 オーデンセ駅着 アネさん引率でオーデンセ市内を徒歩で見学	(昼)		
	オーデンセ駅 ⇒リング駅 15:13 15:29	15:13 オーデンセ駅で普通列車に乗車、リングへ 15:29 リング駅着 ホストファミリーと対面し、各家庭へ	ホスト (夜)		
8/11 (日)	ファボー・ミッドフュン市内	《3日目~6日目》 ・ホストファミリーと過ごす ・リングフリー校授業参加 ・ファボー・ミッドフュン市役所表敬訪問 ・ノーアエア校訪問、森の幼稚園訪問、老人ホーム訪問 ・イーエスコー城見学 ・レゴランド訪問	ホスト		
8/14 (水)					
8/15 (木)	ホスト宅 ⇒リング駅 08:30	《7日目》 それぞれホストファミリー宅からリング駅へ向かう 08:30 リング駅到着	ホスト (朝)		
	リング駅 ⇒オーデンセ駅 08:53 09:13	08:53 普通列車でオーデンセ駅へ 09:13 オーデンセ駅着			
	オーデンセ駅 ⇒コペンハーゲン 09:51 中央駅 11:08	09:51 列車(IC22)に乗り換え、コペンハーゲン中央駅へ	派遣	ホテル	
	コペンハーゲン⇒ホテル 中央駅 11:08 11:20	11:08 駅からホテルへ徒歩移動 11:20 ホテルで荷物を預かってもらう	交流団		
	コペンハーゲン⇒ブロンビュ	12:00 オリンピック関連スポーツ施設を見学に	(昼・夜)		
	コペンハーゲン市内	17:00 ホテルにチェックイン (ベストウェスタンホテル ヘブロン) 17:30 コペンハーゲン市内見学、チボリ公園訪問			
8/16 (金)	ホテル ⇒コペンハーゲン 10:00 中央駅 10:10	《8日目~9日目》 10:00 ホテルチェックアウト コペンハーゲン中央駅へ徒歩移動	ホテル (朝)		
コペンハーゲン⇒コペンハーゲン 中央駅 11:16 空港駅 11:29	11:06 普通列車に乗車、コペンハーゲン空港駅へ 11:29 コペンハーゲン空港駅到着後、空港まで徒歩。出国手続き	派遣 交流団 (昼)	機内泊		
コペンハーゲン⇒成田空港 空港 15:45 09:35 (日本時間)	15:45 スカンジナビア航空(SK983 便)で成田空港へ (約 10 時間 50 分) 09:35 成田空港到着後、入国手続き、税関審査	機内食 (夜・朝)			
8/17 (土)	成田空港 ⇒新千歳空港 13:30 15:15	13:30 全日空(NH1127 便)で新千歳空港へ 15:15 新千歳空港到着後、荷物受取り、市バスに乗車	派遣 交流団		
	新千歳空港 ⇒市役所 16:30 17:40	16:30 市バスで市役所へ 17:40 市役所到着	(昼)		


○ 各学校独自の取組について

デンマーク王国での貴重な体験を通して、生徒が現地で学んだことや感じたことを同世代の生徒に発表する場を設けていただき、国際性豊かな人材の育成や本事業のPRに寄与していただきました。

学校名	学年	生徒名
登別市立鷺別中学校	1年生	木下 耕太郎
	3年生	清瀬 栞奈
	3年生	宮本 彩希
<p>【取組内容】 ⇒9月26日（木）発行の「鷺中」第6号に、3人の感想文（一部抜粋）を掲載。</p> 		

学校名	学年	生徒名
登別市立西陵中学校	1年生	船田 清夏
	2年生	滝沢 恵生
<p>【取組内容】 ⇒デンマーク王国での体験や研修内容を発表する予定。日程などは未定。</p>		

学校名	学年	生徒名
登別市立緑陽中学校	1年生	樋口 暖日
<p>【取組内容】 ⇒デンマーク王国での体験や研修内容を発表する予定。日程などは未定。</p>		

学校名	学年	生徒名
北海道登別明日中等教育学校	1回生	佐藤 杏花音
	1回生	寺沢 美柚
	3回生	柳瀬 望琉
<p>【取組内容】 ⇒10月4日（金）開催の3回生集会において柳瀬さんが、デンマーク王国滞在中の体験について発表。10月8日（火）の英語の授業の中で佐藤さんと寺沢さんが、各自の研修内容について発表。</p> 		

研修テーマ

日本とデンマークの生活の違い

登別市立鷺別中学校 1年 木下 耕太郎

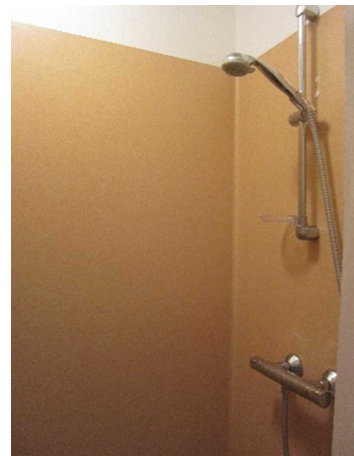
今回、僕は、「日本とデンマークの生活の違い」について、ホストファミリーと過ごす中で調べてきました。すると、日本では見られないようなデンマークの人々の様子が次々と浮かび上がってきました。



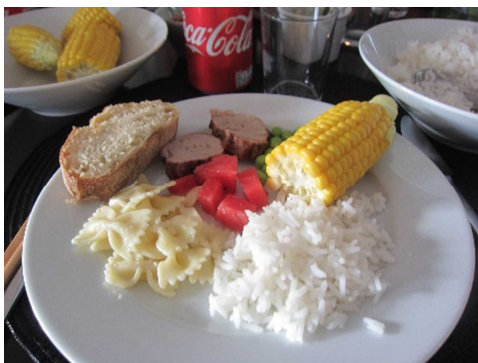
まずは、「学校の靴」についてです。日本の学校の外では「外靴」、中では「上靴」というように、靴を場所ごとに履き替える生活しています。しかし、デンマークの学校では、基本的に靴を履き替えずに、外靴のままで生活し、外靴では入れない所では、上靴などは無いいため、靴下で中に入ります。自分が思うそれぞれの利点は、上靴がある場合は、床などの清潔さを保てるということ、上靴が無い場合は、そこに上靴がある必要が無いので、いろんな出入口から自由に出入りできるということです。

次に、「夜のリビングの明かり」についてです。日本では、ほとんどの家庭が照明でリビングを照らして夜を過ごしています。また、最近では、明るさを細かく調節したり、スリープタイマーをかけたりできる照明も増えてきました。それに対して、僕のホストファミリーの家のリビングでは、テーブルに何本かのロウソクを置き、その火で室内を照らして過ごしていました。外が完全に真っ暗になると、それらのロウソクの火だけが唯一の明かりとなり、とても幻想的でした。

次に、「お風呂」についてです。日本では浴室にシャワーとバスタブがあり、身体を洗った後、湯に浸かることができますが、デンマークにはバスタブがなく、シャワーを浴びるスペースが、カーテンで仕切られているだけでした。シャワーだけなので、水を無駄



にしたり、スペースを大きく取ったりすることは無いと思いますが、僕個人としては、湯に浸かることができた方が嬉しいと思いました。



最後に、「食事の食べ方」についてです。日本の自分の家の食事は、だいたい親がメニューや量を決めて、用意して出してくれます。例えば、トーストの枚数や上に乗せる具材なども、です。しかし、ホストファミリーの家では、自分の食べたい物を食べただけ取る

ことのできる、バイキングのような形式でした。個人の自由に任されていると感じました。そして、ホストファミリーの家で出された料理は、初めて見る物も多かったですが、どれも美味しかったです。

このように、日本とデンマークでは、生活の中にいろいろな違いが見られることがわかりました。どちらにもそれぞれ良いところがあり、日本に取り入れたいこともありました。また、もっとデンマークで過ごすことで、建物についても調べたいという興味がわいたり、より細かいところまで生活の違いを見つけたりしたいと思いました。

デンマークの伝統的な文化について

登別市立鷺別中学校 3年 清瀬 栞奈

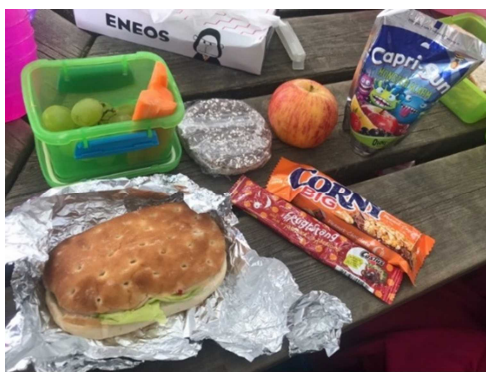
私は、「デンマークの伝統的な文化」という研修テーマを持って、デンマークへ旅立ちました。

デンマークへ到着し、早速一つ日本とは違う文化を見つけることができました。それは、「日本は、道路にはほとんど信号があつて、歩行者と運転手はその信号に従って行動している。しかし、デンマークの駅周辺では、人通りが多いのにも拘わらず、信号も少



なく、歩行者と運転手はゆずり合いをしながら進んでいる。」ということです。この違いを見つけた時、私は「外国人は自己主張が強い」というイメージを持っていたので、驚きもあり、感動もありました。

二つ目は、2～3日ホストファミリーと過ごした頃に気づいたことです。日本では、夜ご飯はもちろん、朝ご飯も、毎日違うものを食べる家庭が多く、白米からパン、麺類まで種類も様々だと思えます。それに比べ、デンマークの朝ご飯は、主食はほとんどパン、他にはコーンフレークやヨーグルトなどが多いと知りました。その中でも、私が一番驚いたことは、ほとんどの家庭で、朝ご飯が毎日同じ物ということです。私は、パンもヨーグルトも大好きだし、あまり飽き性な性格ではないので、全く苦痛ではなかったのですが、飽き性な人などには大丈夫なのかな？と疑問に思いました。



三つ目は、「デンマークの昼食文化」についてです。日本の昼食は、主にお弁当や学食、給食などですが、デンマークは、お弁当のみで、また、その中身を見て、私はとても驚きました。日本の定番スタイルのお弁当の中

身と言えば、玉子焼きやウィンナー、トマトなどですが、デンマークのお弁当の中身は生の野菜や果物たちが多かったです。私も1日目、苦手な生のニンジンが入っていたので、1本だけ食べて、残りは清夏さんに渡して食べてもらいました。しかし、デンマークの子達は、みんな笑顔で美味しそうに食べていたので、「日本人と全然味覚が違うな〜。」と思いました。

四つ目は、研修4日目に同級生のホストの子とリングフリー校（中学校）で授業を受けた時のことです。数学の授業を受けていた時のこと、プリントに書き込むことになり、ホストの子から「Please



pen.」と言われたので、いつも通りにシャーペンを貸すと、「No, No, pen!」と言われました。私は「This is a pen.」と答えると、彼女は「What?」と困った顔をしました。それで私は、その日唯一1本だけ持っていた鉛筆を渡すと、彼女は「Yes! Yes! Thank you!」と言いました。私は「You are welcome…」と答えました。その時私は、『どうして鉛筆は知っているのに、シャーペンは知らないのだろうか?』と少し疑問に思ったので、家に帰り、ホストファミリーに聞いてみると、デンマークには、あまりシャーペンやボールペンなどを使う習慣が無く、鉛筆や蛍光ペン、日本で言うプロッキーのようなものを使うということが分かりました。私はそれを聞いた時、すごく驚きました。そして、『細かい文字を書く時は書きにくくないのかな〜?』と少し疑問に思いました。

五つ目は、「遊びの文化」についてです。日本で定番の遊びと言えば、「おにごっこ」やトランプ、メディアゲームなどが多いですが、デンマークはスポーツやボードゲーム、身体を使った遊びをすることが多いそうです。そのため、メディアに触れるのが少ないせいか、メガネをかけている生徒や視力が悪いという生徒は少ないように感じました。

このようなことから、デンマークと日本の文化はいろいろな場面で異なり、たくさんの違いを見つけることができました。また、デンマークの街は美しく、見ていてとても楽しく、今回の訪問は最高の思い出になりました。

デンマークの食べ物について

登別市立鷲別中学校 3年 宮本 彩希

私は、『デンマークの食べ物』について現地で調べてきました。

私が出国して最初に食べたものは、国際線の機内食でした。機内食はパンと野菜がメインで、他にチーズやビスケット等がありました。



次は、ホテルの食事を紹介します。ホテルはバイキング制でした。食べ物はや

はり野菜が多かったです。その他にもハムやチーズ、ヨーグルトがありました。少し驚いたことはりんごや梨がまるごと置いてあったことです。もちろんディスプレイではありません。ホームステイ中にも、ホストからりんごをまるごともらった人がいて、丸かじりしていました。



ホストの家ではゆでた野菜と「フォガデラ」という、日本のハンバーグのようなものを食べました。飲み物も、日本ではお茶や水を飲みますが、現地では果物のジュースが多かったです。そして、デンマークで最もよく見かけたお菓子は

「ラクリス」でした。これは、現地の子供たちが大好きでよく食べていました。しかし、味がとても個性的なので、日本にお土産として持って帰りましたが、口に合わない人が多かったです。ちなみに、団長が買ったラクリスの味が一番濃かったです。

これは、ほぼ全ての食べ物に共通して私が思ったことですが、固いものが多かったです。パンも、フランスパンのようなもので、野菜やお肉、お菓子も歯ごたえのあるものばかりでした。味付けも濃いイメージをもっていました。が、実際はやさしい味が多く、普段日本食を食べている私たちにも受け入れられる

と思います。

このように、デンマークの食べ物は、野菜や果物が中心のとてもヘルシーなものばかりでした。そのためか、現地の人たちはやせ型の人が多く、太った人はほとんどいませんでした。日本には今、ファストフードやインスタント食品など、添加物が多い



のでそのような点は日本も、デンマークを見習うべきだと思いました。私自身も、これからの生活で、味の濃いお菓子や食事をひかえていきたいと思います。皆さんも、デンマークの食事を生活にとり入れてみたらどうでしょうか。

首都「コペンハーゲン」について

登別市立西陵中学校 1年 船田 清夏

私の研修テーマは、デンマークの首都「コペンハーゲン」についてです。コペンハーゲンに行って自分で感じた街の様子を、紹介したいと思います。



まずは、ホテル近くの様子です。そこには、様々なジャンルのお店が立ち並び通りやチボリ公園という大型遊園地、落ち着いた雰囲気のコペンハーゲン駅がありました。通りは、観光客や現地の若い人たちでにぎわい、ライブやフェス、道端でサククスやバイオリンを弾

いている人がいて、聞こえてくる音楽が多様でした。

お店は、人形屋さんで見かけた綿を回す大きなマシンや独特な絵の看板などの個性的な物、日本でもおなじみのマクドナルドやセブンイレブンなどに目を引かれ、それらを探すのも楽しみの一つとなりました。

チボリ公園は、日本では考えられませんが、街のど真ん中にあり、乗り物は、大人向けのアクティブなものから、子供向けのものまでいろいろありました。帰り際に上がった大きな花火は、チボリ公園だけでなく、街全体を盛り上げているようでした。一方、駅やホテルがあった通りは静かで落ち着いていました。



また、歩行者側の道に沢山の自転車が置かれている事などから、デンマークの人は、よく交通手段として自転車を使うことが分かりました。

建物は、デンマークの人の好きな銅で造られているものもあり、10年位経つと緑色に変わるらしいです。他は、レンガや石造りで統一性のある建物が多かつ

たです。日本の首都の東京の建物はコンクリートや鉄で、新しい建物が次々と建っているのに対し、コペンハーゲンは、古くからそこに建っているような歴史的な雰囲気を感じることができました。そして、ゴミ箱がよく置かれているなどの便利さも感じられました。



次は、有名な観光地ニューハウンの様子です。ここは、カラフルな家が並ぶ港町で、可愛らしさとヨーロッパらしさを感じました。辺りには歌っている人と、それを聴いている人たちがいて、ここも音楽でにぎわっていました。また、風景写真や家族写真を撮っている人もいて、

和やかな雰囲気もありました。名物のバタークッキーなどを売るワゴンのお店も何台も並んでいました。

このようなことから、自分の目で見てきたことだけにはなりますが、首都「コペンハーゲン」は、少し街中を歩くだけで、デンマークの文化や歴史を感じられる、すてきな観光地だということが分かりました。

デンマークの教育について

登別市立西陵中学校 2年 滝沢 恵生

僕は、「デンマークの教育」について調べて来ました。自分が教育について調べた理由は、日本の教育とデンマークの教育の違いを知りたかったからです。今回、リングフリー校とノーアエア校の2校を訪問して、日本の学校との違いを見つけることができました。

まず一つ目は、クラスの数です。日本は30人程度で、僕のクラスは40人であるのに比べ、デンマークでは20人程度で、日本の半分程の人数でした。デンマークのように1クラスの人数が少ないと、先生が目が一人一人に行きわたって、きめ細かい授業を受けることができると良いと思いました。



二つ目は、支援学級がデンマークにもあるのかということです。調べてみると、デンマークには支援学級は無く、目や耳の不自由な生徒も、発達障害等を持つ生徒も、みんな同じクラスの中にいることがわかりました。そのため、先生は、口を大きく開けて話して内容を伝える等の工夫をしていました。日本の学校には支援学級があり、一人一人に合った授業を受けることができると良いと思いました。



三つ目は、設備の違いです。日本の学校には、廊下にソファはありませんが、デンマークの学校の廊下にはソファがありました。そして、ノーアエア校には、グループワーク専用の教室があり、その教室でパソコンなどを使ってグループワークをしていました。グループワーク専用の教室が日本の中学校にもあると、クラスのみならず自分の考えを分かち合うことができると良いなど

思いました。また、リングフリー校の音楽室にはギターやバイオリン等、いろいろな楽器が置いてありました。僕は、日本の中学校にもギター等があったら面白いなと思いました。そして、音楽室を始め、各教室には日本と同じような普通の黒板と、パソコンをつなげて使う『電子黒板』がありました。僕の通う西陵中学校では、パソコンをテレビに接続して授業中に使用していますが、デンマークでは、テレビではなく、プロジェクターみたいな物が使われていました。



四つ目は、デンマークの学校には制服が無いということです。全員が私服で、ラフな感じがしました。また、「制服がほしい？」と聞くと、みんな「いらない～～」と言っていました。

五つ目は、授業時間が日本よりも短く感じて「いいなあ」と思ったことです。

僕は今回「デンマークと日本の教育の違い」をテーマに調べてみて、以上5つの違いを見つけました。日本の学校のように、支援学級があれば良いのではないかと思いました。学校の設備的には、日本がデンマークのように充実してくれたら良いのになあと思いました。

デンマークと登別の交流

登別市立緑陽中学校 1年 樋口 暖日

僕は、「デンマークと登別の交流」について、デンマークで調べてきました。僕は、デンマークに行く前は、国としてのデンマークと登別が交流をしていると思っていました。しかし、ホストのお父さんに聞いてみたら、「デンマークではなくて、リングと登別が交流しているんだよ。」と教えてくれました。



まず、なぜリングと登別市が交流を始めたのかを説明します。リングと登別市は1995年から交流が始まりました。そのきっかけは、皆さんも一度は行ったことがあるマリパークにあるお城です。何城というかわかりますか？正解はニクス城です。「登別が、ニクス城を作るとき、モデルとなったのが、リング近郊にあるイーエスコー城なんだよ。」と、ホストのお父さんは教えてくれました。ニクス城は水族館ですが、イーエスコー城は、実際に人が住んでいるお城です。僕はそのお城に行きましたが、窓から見える景色はとてもきれいでした。イーエスコー城は、ニクス城とは違った迫力があり、圧倒されました。

デンマークと登別の交流のきっかけは、イーエスコー城とニクス城でしたが、その後もデンマークと登別は、市民同士の深い交流を続けてきました。実は、僕のお父さんも25年前、このデンマークの交流事業に参加していました。そして、デンマークの人達の温かさに感動して、自分の子供に行かせたいと言っていたそうです。僕も実際デンマークに行って、デンマークの人たちが、英語の苦手な僕にでもわかりやすい言葉



で話してくれたことや、最初緊張していた僕をサイクリングに誘ってくれたり、たくさん声をかけてくれたりしました。ホストのお母さんは「今日は良い1日を過ごした？」とか「お水いる？」など、僕をととてもよく気遣ってくれました。お

かげで、すぐにリラックスすることができました。



僕は、デンマークと登別の交流が、長く続いてきてくれて良かったです。これからもこの交流が続いていくように、デンマークで感動したことやたくさんの思い出を、友達などに伝え、デンマークのことを知ってもらうことで、デンマークに行きたいと思う人が一人

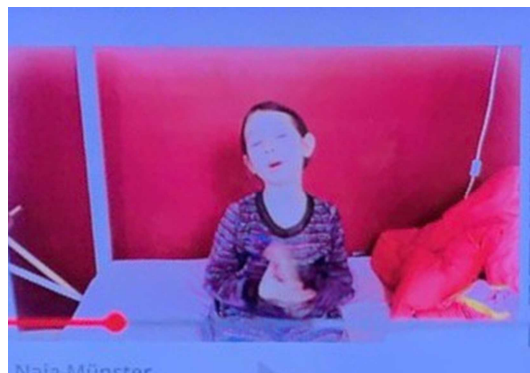
でも多くなるようにしたいです。そうすることで、これからもずっとデンマークと登別の交流が続き、今後もたくさんの人がデンマークに行ってくれるのではないのでしょうか。みなさんも行ってみたいと思いませんか？

デンマークのテレビについて

北海道登別明日中等教育学校 1 回生 佐藤 杏花音

私はデンマークのテレビについて調べてきました。

デンマークのテレビには、20万人や30万人のファンがいるユーチューバーの密着取材のような番組がありました。とても人気のあるユーチューバーの女の子と男の子が取材されていました。日本では、このようなテレビ番組は無いので



驚きました。取材されていた男の子はロビンという名前のユーチューバーで、私のホストのアンドレアは、彼の妹と一緒にフットボールをしたことがあるそうです。

また、日本と同じように、警察が取り締まっている様子を扱った番組もありました。



コマーシャルは、ホテル予約サイトの「トリバゴ」や「コープ」という名前のスーパーマーケットのものがありませんでした。日本でも「トリバゴ」と「コープ」のコマーシャルがあるので、親近感が湧いてきました。その他には、日本の洗濯剤「アタック」のように、人気がある俳優たちが出ているコマーシャルもありました。

その他には、「ウルトラ」というデンマークのラジオが入っていました。この番組はトーク番組で、ホストのアンドレアが好きな歌手が出ていて、一緒に歌っていました。その歌手のコンサートに行ったそうです。

子供向けのテレビは、ディズニーチャンネルが一般的なようで、夜遅くまでは放送していませんでした。デンマークの人たちは、夜寝る時間が早いので、遅く

まで子供向けのテレビは放送されていないみたいでした。

デンマークのテレビについて教えてもらったので、日本のテレビについても教えました。日本では、大晦日に有名な芸人達が「笑ってはいけない」という番組があって人気だと伝えると、とても笑っていました。また、「紅白歌合戦」のこと



も教えると、デンマークにも似た番組があると教えてくれました。

デンマークのテレビは、ディズニーチャンネルや密着番組が多かったのですが、日本はバラエティ番組が多いと思いました。英語やデンマーク語をもっと勉強して、いつかデンマークのテレビの内容がわかるようになりたいです。

食文化から探る幸福度ナンバーワンの秘密

北海道登別明日中等教育学校 1 回生 寺沢 美柚

今回の研修では、デンマークの幸福度ナンバーワンの秘密について、食文化の視点から探りながら研修を進めました。

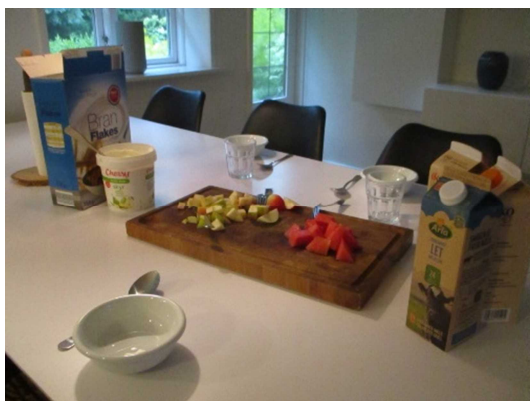
まずは、食べ物そのものについてです。ホストファミリーの家での食事は、ポテトと肉、野菜といった内容が主でしたが、朝は家庭菜園で採れたリンゴとスイカにシリアルとヨーグルトといった感じでした。また、ホストのお父さんが用意して持たせてくれたお弁当には、出発前からよく聞かされていた生のニンジン、キュウリ、ミニトマト、具だくさんのラップサンドが袋の中に詰まっ



ていました。このミニトマトが甘くてすごく美味しかったです。

ホテルや街中での食事は、野菜やフルーツが多かったです。味付けは、塩やオリーブオイル、黒コショウといった簡単なもので、ソースも色々なものがあるわけではなく、グレイビーソースぐらいでした。乳製品や肉、野菜が一般的な食事に主に使われているようです。

次に、食事のマナーについてです。食事をする時は、お客さんから先に自分のお皿に盛るのがマナーのようです。食べ終わった時は、フォークとナイフをお皿の右端にそろえて置いて合図します。



台所は足場が広く、お皿を洗うのは食洗機が全てやってくれます。私のホストファミリーの家に彩希さんが来たときに、おにぎりを作って、デンマークの人たちに食べてもらいました。その時に使わせてもらった電子レンジは、日本のものよりも少し大きいだけなのに、そのワット

数は、なんと1,000W (!) もあって、とてもびっくりしました。

デンマークでは、食事の雰囲気が全体的に楽しい雰囲気でした。ホストファミリーとの食事で、私がフォークとナイフをうまく使いこなせなかった時にも、ホストファミリーのリーバとエマ・ヴィクトリアが、やさしく分かりやすく教えてくれました。そのおかげで安心して食事をすることができました。

私がデンマークで体験したことから、デンマーク人が社会的、福祉的なサポートの充実によって、将来への不安が無いということに加えて、食の充実も幸福度のアップにつながっているのではないかと思いました。いつかまたデンマークへ行き、その時には現地のスーパーマーケット巡りなどしてみたいです。

今回のデンマークへの派遣は、すごく楽しく、良い経験になりました。

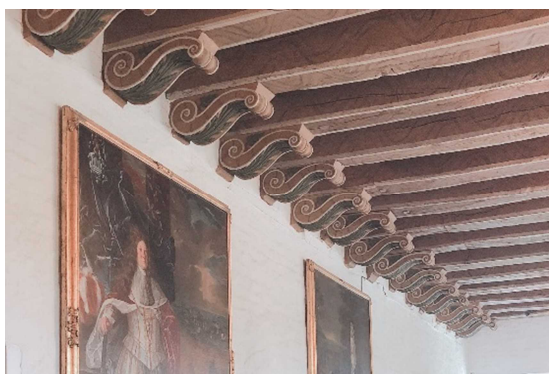


デンマークの建物

北海道登別明日中等教育学校 3 回生 柳瀬 望琉

私は、「デンマークの建物」について調べてきました。デンマークには、日本と違う石造りの建物やユニークな形の建物が多くありました。その中でも特に印象的だった二つの建物について紹介します。

まずは、イーエスコー城です。このイーエスコー城が登別マリパークのニクス城のモデルになったということもあり、外観のイメージは湧いていたのですが、驚かされたのはその内観でした。城の中には代々使われてきた家具などが展示されていて、それらにも興味を引かれましたが、天井の柱にも目を奪われました。柱の両端に写真のようなS字型の彫刻があり、サイドは1枚の葉を模したようになっていました。細部にまで、このようなこだわりがあるのは、日本の城とも似ている部分のように感じました。



また、他の部屋や家具は、各階ごとに展示の仕方が工夫されていて、特に屋根裏の、おもちゃやアンティークを透明なドームの中の一つ一つに入れて飾っていたのが面白かったです。そのドームの中には、船や電車など、乗り物のおもちゃが多く入っていて、半径10センチメートル位の小さなドームや半径35センチメートル位の大きなドームにいくつかのおもちゃが入っているものなど、ドーム自体のバリエーションも豊富でした。それらのいくつかを1枚のガラス板にはめ込んでいて、その組み合わせもまた面白かったです。



次は、アンデルセン博物館やニューハウ
ンで見た、カラフルな家々です。それらはピン
クや水色、白や黄色の家がすきまや凸凹が無
く並んでいて、日本には無い独特なものだと
思いました。アンデルセン博物館は1階建て、
2階建ての小さな家が多かったのですが、ニ
ューハウンは横幅が狭い分、3階建て、4
階建てになっている家が多く、人が生活でき



るスペースと景観を同時に確保で
きていると思いました。この他に
もデンマークには魅力的な建物が
多くありました。北欧らしいユニ
ークな形のショッピングセンター
やビル、日本には無い石造りの建

物、カラフルな家々…。日本では出会わない刺激だったので、私も実際に建物と
して取り入れられずとも、インテリアなどで取り入れてみたいと思いました。ま
た、今回はほんの一部しか見られなかったなので、ぜひもう一度デンマークへ行っ
て、他にもたくさんの建物を見てみたいと考えています。